

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道486号 新市府中拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県福山市新市町戸手 至：広島県府中市中須町	延長	3.0 km		
事業概要	一般国道486号は、岡山県総社市を起点とし広島県東広島市に至る延長約135kmの幹線道路である。新市府中拡幅は、交通混雑緩和及び交通安全の向上を目的とした延長3kmの4車線道路である。				
H9年度事業化	H8年度都市計画決定	H12年度用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	約170億円	事業進捗率	37%	供用済延長	0 km
計画交通量	23,000～35,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.7 (残事業) 8.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 63/150億円 (事業費：61/148億円) 維持管理費：2/2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 552/552億円 (走行時間短縮便益：536/536億円) (走行費用減少便益：14/14億円) (交通事故減少便益：2/2億円)	基準年	平成18年
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=9.6（交通量+10%） B/C=7.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=7.9（事業費+10%） B/C=9.7（事業費-10%）				
事業の効果等	現道等における混雑時旅行速度が20km未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 三次医療施設へのアクセス向上が期待される。他10項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道486号は、沿線市町の経済や文化の交流と連携の強化、活力ある都市活動の推進等に欠くことのできない主要幹線道路として利用されており早期に整備促進するよう、岡山・広島間国道486号整備促進広島県期成同盟会より要望（平成18年7月3日）を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	福山市・新市町・内海町が平成15年2月3日に、府中市・上下町が平成16年4月1日に合併し、当該路線は新市建設計画の主要施策（道路網の整備・都市拠点の整備）に位置付けられている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	府中工区の用地取得は8割を超え、平成17年度に一部工事着手したところであり、引き続き用地買収及び工事を促進し早期完成を図る。戸手工区においては、平成16年度に用地買収に着手したところであり、早期工事着手に向け、引き続き用地買収を促進する。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	早期完成に向け用地買収を促進する。				
対応方針	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。